

神輿と闘争の民俗学

浅草・三社祭の
エスノグラフィ

三隅貴史 三社祭の花形である、三基の本社神輿を担いでいるのは誰なのか。神輿の棒を激しい争奪戦で勝ち取ってきた有名神輿会に飛び込んだ著者による、狂騒のエスノグラフィ。A5判・四一六頁／四五〇〇円

政治風土のフォークロア

文明・選挙・韓国

室井康成 私達が知らず知らずのうちに従っている、不可視の行動基準。「民俗」の視座から、日本という風土に醸成された、政治と選挙の「情実」を読み解く。四六判・三六〇頁／三五〇〇円

麦の記憶

民俗学のまなざしから

野本寛一 多様な農耕環境の中で裏作に組み込まれ、米を主役とする日本人の食生活を陰ながら支えてきた麦。現在では失われた栽培・加工方法、豊かな食法、麦の民俗を紹介する。四六判・三五二頁／三〇〇〇円

近代の記憶

民俗の変容と消滅

野本寛一 最後の木地師が送った人生、戦争をめぐる悲しい民俗、イロリの消滅など、人びとの記憶に眠る近代の事象を褪色と忘却からすくいだし、記録として蘇らせる。四六判・四〇〇頁／三四〇〇円

山棲みの生き方

木の実食・焼畑・狩猟獣・
レジリエンス「増補改訂版」

岡恵介 山の恵みをいただき、畑の実りを願い、時に災害に脅かされながらも森に生き続ける北上山地の人々。二〇年にわたり人々と生活をともにした著者が描く山棲みの暮らしと心。A5判・二六四頁／二八〇〇円

「面」と民間伝承

鬼の面・肉付き面・酒呑童子

西座理恵 昔話や伝説、お伽草子などの物語に取り入れられ、多彩なバリエーションをもって語られる「面」。伝承や信仰との関係を見据えながら、その豊かな象徴性を明らかにする。A5判・三八四頁／六八〇〇円

経済更生運動と民俗

1930年代の官製運動に
おける介在と変容

和田健 村の相互扶助のシステムに相互監視の役割をうえつけ、人々の生活と民俗慣行に介入した経済更生運動。官製運動が「空気」をつくり、「民」を動かすメカニズムに迫る。A5判・二二四頁／四五〇〇円

【新刊】

日本民俗学の萌芽と生成

近世から明治まで

板橋春夫 「古風」の発見によって江戸時代に芽生えた民俗的関心は、明治以降の近代化の流れの中で、どのように日本民俗学の誕生へとたどりつくのか。その生成過程を丹念に描く。A5判・三二〇頁／予価五五〇〇円

七月社

〒182-0015 東京都調布市八雲台 2-24-6 / Tel・Fax 042-455-1385

URL: <https://www.7gatsusha.com> / e-mail: info@7gatsusha.com / 価格税抜